

平成 17 年 6 月 5 日

第 61 回

1999.4.活動開始



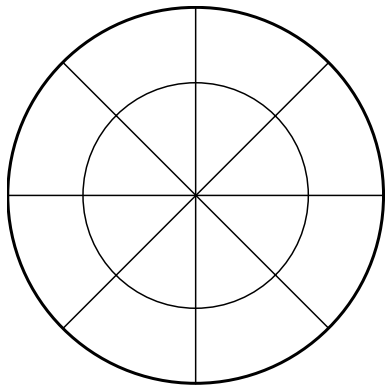
<http://www.aozora-jikken.com/>
 次回案内や連絡の掲示板があります。
 みんなアクセスしてね！！

今月のテーマは 色

< 参加の部 >

・色ごまで遊ぼう

下の丸いコマに色を塗って、ようじをさして回してみましょ。色が混ざると、どんな風に見えるでしょうか？



< ショーの部 >

・補色 (ほしょく) について

信号の赤や空の青、木の葉の緑など、私たちは様々な色を見ながら生活していますが、色にも「反対の色」があるのをご存知ですか？それが「補色」と呼ばれるものです。

補色は、絵の具であれば混ぜると灰色になる2色で、赤と緑、紫と黄色のような組み合わせです。最もコントラストが強い組み合わせ、とも言えます。また、あ



る色をじっと見つめたあと、すぐに白い紙に目を移すと、見つめた色の補色が残像となって見えてきます。

「色相環」と呼ばれる図を見ると、向かい合った色が補色になるのですぐにわかります。

< 自由の部 >

水性マジックを使って、不思議な模様の芸術を楽しんでみましょう。

< 水性マジックを使って >

水のしみこみにくい画用紙などの上に、水性マジックで点を打ちます。2～3色くらいを、1mm 程度の間隔で打っておくといいでしょう。細いストローを使って、点の上に水滴を2～3滴分乗せます。水の入ったコップの中にストローを入れ、反対側を指で押さえて水を取るといいでしょう。写真のように水が半滴ほど出かかっている状態で、点の上に水を乗せるとうまくいきます。少し見ていると、画用紙に打った点からインクが水に溶け、にじんできます。

< 息や針、そしてインクの追加 >

にじんできたのをそのままにしていると、比較的均一にインクが溶け、水滴全体が同じ色になるだけです。まち針を使って少し点の部分をひっかいたり、水滴に息を吹きかけてみましょう。インクが渦を巻くような模様になったり、ゆらゆらした感じになります。また水滴の表面に水性マジックのペン先を一瞬つけてみましょう。水滴表面に色がつき、さらに複雑なきれいな模様ができます。また紙全体を起こして水滴を流してみると、紙にきれいな模様が描かれることも

あります。色々試してみましょ。

< 失敗から新たな発見 >

水がしみこみやすい紙で実験すると、元々いくつかの成分が混じっているインクの成分がいくつかに分かれて見ることがあります。代用で画用紙を使って実験してみました。ところが水がしみこみにくく、予定通りの実験はできませんでした。しかしそこでやめてしまわず、水滴の様子をじっとみていたらとてもきれいな模様を発見し、この実験を思いつきました。失敗したと思ってもそこから新たな何かが見つかる。それが実験の醍醐味ですね。

あおぞらのメンバーがおすすめる かがくのほん

なぜなぜはかせの科学の本3

花の色・実の色

ぶん: 小林実 え: 河村徳台

しゅっぱん: 国社社

そとにでるといつでもめにつくきれいなおはな。おはなからとれる「しる」は、じつはふしぎなふしぎなまほうのおみず。どんなふうになふしぎなのかは、このほんのなかにかいてあるよ！
 くわしいじっけんといっしょにかいてあるから、それをまとめれば、なつやすみのじゆうけんきゆうになっちゃうかも！？

みんなもこのほんでおはなのしるのふしぎをたいけんしよう！

今月のしょうかい は…

たにくち